

Hero is a man who looks the world straight.

HERO IS A 7.18 HERE



hero-movie.com #HERO

木村拓哉 北川景子
林遣都 清原さやか 正名僕蔵 池田忠雄 渡中静江 高杉 早苗 船山汎
八嶋智人 小日向文世 西野七海
大倉孝二 JAMES C. SURRIS 藤田進 佐藤一朗 橋本良亮 イッセー尾花
松たか子 佐藤浩市
脚本: 横溝 秀史 監修: 横溝 秀史 監督: 西村浩二
製作: 山崎 隆夫 監製: 山崎 隆夫 制作: 山崎 隆夫 制作: 山崎 隆夫
プロデューサー: 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫
演出: 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫
監製: 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫
制作: 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫
制作: 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫 山崎 隆夫

7.18
ROADSHOW

新たな伝説が始まる。



Introduction イントロダクション

2001年1月、驚異的な視聴率で今世紀最初の伝説と化したその連続ドラマは、スペシャルドラマ、劇場版を経て、昨夏シーズン2の連続ドラマとして劇的なカムバックを果たした。スーツを着ない型破りな検事、久利生公平(木村拓哉)を中心に、東京地検城西支部の個性豊かな面々が、きわめて現代的な事件の数々に立ち向かう。時代がいくら変わってもみずみずしい輝きを放ち、私たちに大切なものの存在を気づかせてくれる『HERO』が、この夏、再びスクリーンに還ってくる。北川景子始め、シーズン2のレギュラーメンバーはそのままに、本作では『HERO』ファン待望の雨宮舞子が復活。木村拓哉と松たか子のコンビが実に8年ぶりにお目見えする。さらに、久利生の前に立ちちはだかる外務官僚役で、佐藤浩市が登場。「大使館」という、決して侵してはならない「絶対領域」の前に、久利生が私たちに伝える「正義」とはいったい何か。その鮮やかにして深い「答え」こそ、最新の伝説との遭遇に他ならない。この夏、私たちは『HERO』の新たな伝説を目撃することになる。

Story ストーリー

ニュージーランド公国大使館の裏通りで、パーティーコンパニオンの女性が車にはねられ死んだ。東京地検城西支部の久利生公平検事(木村拓哉)は、事務官の麻木千佳(北川景子)と共に事故を起こした運転手を取り調べる。すると、ふたりの前に、かつて久利生の事務官を務めていた雨宮舞子(松たか子)が現れた。現在、大阪地検難波支部で検事として活躍する雨宮は、広域暴力団が絡んだ恐喝事件を追っており、その重要な証人が、久利生が担当する事故の被害者女性だったのである。これは単なる交通事故ではない。そう感じた久利生と雨宮は、合同捜査を開始するが、雨宮は久利生のあまりの変わらなさに呆れる。事故当時の状況を知るために、ニュージーランド公国の大使館員から話を聞こうとする久利生。大使館に向き直接交渉を試みるが、あっさりと断られる。なぜなら、大使館には日本の司法がまったく及ばない「治外法権」が存在するからだ。言ってみれば、それは、日本のなかに存在する外国。国際社会における各国の当然の権利であって、正義の名の下にそれを侵すことは、外交を崩壊させかねない禁断の行為だった。諦めきれない久利生はアプローチを重ねるが、当然の事ながら大使館はまったく応じず、やがて、事態を重く見た日本の外務省・松葉圭介(佐藤浩市)から、思いがけない圧力さえかかってくることに。さすがの久利生も、「大使館」という決して侵してはならない「絶対領域」の前になす術なく、捜査が進展せず暗礁に乗り上げてしまう。果たして、久利生は「大使館の壁」の向こうにある真実にたどり着くことができるのか――。

外務省



松葉 圭介

Koichi Sato

外務省・欧州局長。
ニュージーランド大使館に立ち入ろうとする久利生と、真っ向から対立。

CHARACTERS

東京地検本庁



牛丸 豊

Takuzo Kadono

かつての城西支部・部長検事。いまは東京地検本庁・次席検事に出世。甘いもの好き。

大阪地検難波支部



雨宮 舞子

Takako Matsu

かつての久利生の事務官。現在は大阪地検難波支部の検事。久利生への想いは、いまも…?



一ノ瀬 隆史

Koji Ohkura

雨宮を支える長身の事務官。真直で、従順。決して出しゃばらない。

対立

東京地検城西支部

協力



田村 雅史

Tetta Sugimoto

「なに?」を多用する野心家の検事。妻は牛丸次席の娘。馬場検事と交際歴アリ。



遠藤 賢司

Norito Yashima

合コン大好きな事務官。そのトークは留まるところを知らず。田村検事を常に翻弄している。



川尻 健三郎

Yutaka Matsushige

城西支部・部長検事。普段は頼りないが、突然キレて、いざというときは案に頼もしい。



馬場 礼子

Yoh Yoshida

年齢不詳の美人検事。フェロモン全開のデキる女性だが、田村検事との別離をいまだに根に持っている。



井戸 秀二

Bokuzo Masana

警備員から事務官に。馬場検事とは、何気なく名コンビ。かなりの愛妻家らしい。



宇野 大介

Gaku Hamada

お坊ちゃんのエリート検事。プライドは高いが、城西支部の面々にはイジられっぱなし。千佳に恋心を抱いている。



末次 隆之

Fumiyo Kohinata

ニコニコ?ニヤニヤ?笑みのたえない宇野検事の事務官。惚れっぽい性格で、いまは馬場検事が好き。



久利生 公平

Takuya Kimura

“お出かけ捜査”好きで「スーツを着ない」型破りな検事。事件に大小はないと信じ、真実を追求する姿勢にブレがない。趣味は通販でのお買い物。



麻木 千佳

Keiko Kitagawa

元ヤンキーの美人事務官。久利生の影響を受け、検事を目指している。事務官から検事になった雨宮に憧れている。

St. George's Tavern

城西支部の面々が集まるバー。



マスター

Yoji Tanaka

名物は「あるよ」のマスター。



FREE SPACE

7.18 ROADSHOW

劇場内での映画の撮影・録音は行いません。
www.film.co.jp
0120-550098